

区立施設マネジメント計画に関する ワークショップ

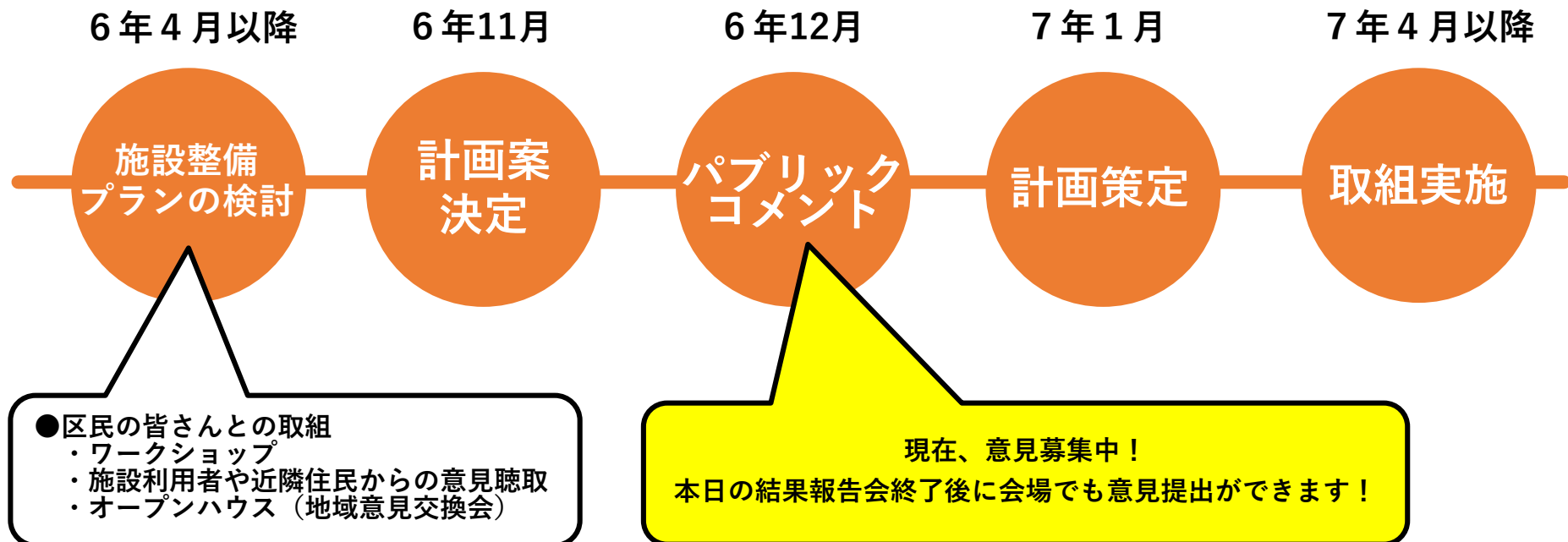
～浜田山駅周辺の老朽化した区立施設への対応等に関する検討(結果報告会)～

令和6年12月10日(火)
杉並区政策経営部企画課
施設マネジメント担当

現在の状況

ワークショップに参加された皆さんと一緒に検討してきた内容や8月に実施した地域意見交換会、施設利用者や関係団体等からいただいた意見を踏まえ、**区が計画案を作成しました。**

現在は作成した計画案に対する**意見募集(パブリックコメント)を実施(12月3日~1月6日)**しており、意見募集後には、いただいた意見に基づき修正が必要か精査を行った上で、最終的には**1月末に計画を決定**します。



本日(結果報告会)のプログラム

時間(予定)	内容
18:00~18:05	本日のプログラムの説明等
18:05~18:20	区からの説明 ○ 決定したプランの内容と決定する際のポイント ○ プランの決定に当たって重視したポイント ○ プランを決定する際の考え方
18:20~19:00	意見交換 ○プランの内容やプランを決定する際の考え方に対する意見、疑問点等
19:00~19:05	区からのあいさつ

※時間は会の進捗により変更となる場合があります。

区からの説明

- 決定したプランの内容と決定する際のポイント
- プランの決定に当たって重視したポイント
- プランを決定する際の考え方

決定したプランの内容と決定する際のポイント

プランの
イメージ
(更新後)



【プランの内容】

- ① 高井戸東保育園・ゆうゆう高井戸東館を現地改築します(新たな施設は令和12年度に開設予定)。
- ② 浜田山会館・ケア24浜田山は存置します。浜田山会館については、現行のホールを維持しつつ、多世代の利用を促進するとともに、長寿命化改修や中規模修繕等を実施する場合には、より充実した設えとすることを検討します。
- ③ 高井戸東保育園の仮設園舎として活用した後は、今後の行政需要を踏まえて有効活用策を検討します(跡地活用として建物を整備する場合、令和14年度以降の開設見込)。

■プランを決定する上でのポイント

- 改築中及び改築後のゆうゆう高井戸東館利用者の活動機会を確保すること
- 保育園の改築に当たり、園舎や園庭の必要面積を確保し、保育環境の維持・向上を図ること
- ケア24浜田山を管轄地域内で利便性が低下しない場所に配置すること

今後のスケジュール(予定)

用地	現在	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度	令和13 (2031) 年度	令和14 (2032) 年度
A	高井戸東 保育園	■ (保育園+ゆうゆう館)現施設で運営			■ (保育園)仮設園舎に移転		■ (保育園+ゆうゆう館)新施設で運営		
	ゆうゆう 高井戸東館		● 解体設計	● 解体工事	● (ゆうゆう館)代替場所で活動				
B	浜田山会館	■ 現在の地点で運営を継続							
	ケア24浜田山	■ 現在の地点で運営を継続							
C	旧保育室 浜田山東	● 解体設計	● 解体工事	■ 仮設園舎設計 仮設園舎工事		■ 保育園の仮設園舎として運営		■ 仮設園舎解体	

■ …今年度実施する計画の一部修正に反映

※旧保育室浜田山東の跡地活用として建物を整備する場合、令和14年度以降の開設見込みとなります。
 ※スケジュールは、現時点における予定であり、今後の情勢等によって変更となる場合があります。 6

プランの決定に当たって重視したポイント

地域の実情に応じた解決策

区民ニーズはもとより、施設の設置状況・利用人数、利用者の利便性、施設を建て替えた場合の課題など、施設を取り巻くさまざまな状況やこの間聴取してきた区民意見などを踏まえながら、地域の実情に応じた解決策を検討しました。

誰もが使いやすい施設づくり

施設利用者・地域住民の視点を踏まえつつ、将来世代のニーズも考慮しながら、地域・区全体を俯瞰して、施設の配置のあり方を考えました。
また、複合化・併設について、施設の相性や期待される相乗効果などから検討しました。

必要な機能・環境の確保

保育園におけるバリアフリー対応、学校における多目的室の確保など、保育・学校教育環境をはじめ、図書館・さざんかステップアップ教室・ケア24などの各施設に必要な機能・環境を確保していきます。

さらなる高齢化の進展を見据えた 集会施設の整備

コミュニティふらっと・ゆうゆう館の双方が、多世代交流を含むさまざまな活動の機会を提供するとともに、より多くの高齢者にとって利用しやすい施設となるよう、高齢者団体優先枠の見直しなどを検討・具体化します。

プランを決定する際の考え方

■ゆうゆう高井戸東館及び高井戸東保育園について①

○区立施設再編整備計画で計画化していたプラン(ゆうゆう高井戸東館を、浜田山会館等を転用して整備するコミュニティふらっとに機能継承する計画)に対しては、当時、ゆうゆう高井戸東館の利用者を中心に、「距離が遠いので活動を継続できない」、「狭くても良いので今の場所に残して欲しい」という声をいただいていた。

○また、浜田山会館のコミュニティふらっとへの転用に当たっては、ケア24浜田山を移転させた上で、当該スペースを高齢者が活動する集会室に転用することとしたため、ケア24浜田山関係者からも強い反対の声があがっていました。

○高井戸東保育園は、改築に当たり、バリアフリーに配慮した設備や、障害児保育のための諸室等を整備する必要があることから、延床面積は現在よりも増加することとなりますが、現在の敷地内に建てられる建物の大きさを再精査したところ、保育園の園庭は現在の規模よりも若干小さくなりますが、保育施設に求められる基準を満たした上で、集会施設の延床面積は現在よりも若干減少するものの確保できることがわかりました。

プランを決定する際の考え方

■ゆうゆう高井戸東館及び高井戸東保育園について②

○この集会施設については、現在のゆうゆう高井戸東館に比べ部屋数は同じですが規模は小さくなり、ラウンジや多目的室などを整備することは困難であることや、令和3年度(2021年度)に、コミュニティふらっと成田を機能継承先として閉館したゆうゆう浜田山館を利用していた高齢者団体のうち、一定数がゆうゆう高井戸東館で活動しており、今後も井の頭通り北側からの利用者も見込まれることから、その利便性も考慮し、ゆうゆう高井戸東館として改築することとします。

○高井戸東保育園とケア24浜田山を併設することも可能ですが、園児と高齢者との交流が生まれるなどの観点や、ケア24浜田山利用者の利便性確保の観点から、ゆうゆう高井戸東館との併設の方がメリットがあると考えます。

○なお、ゆうゆう高井戸東館の改築工事期間中は、代替活動場所として、高齢者活動支援センター、コミュニティふらっと成田、コミュニティふらっと永福等を想定しているほか、浜田山会館の活用も検討します。

プランを決定する際の考え方

■浜田山会館及びケア24浜田山について①

○過去の計画時点において、ケア24浜田山の移転については、前述のとおり、「現在の場所は分かりやすく、道路付けが良い。駐車場も多い」、「管轄地域である下高井戸方面からのアクセスの考慮も必要」等の反対の声が多くあり、今回のワークショップや関係者への意見聴取の中でも同様の意見をいただきました。

○今回、浜田山エリアで民間賃貸物件や区立公園内への移転等も検討しましたが、賃料が高いことや、公園利用者等への影響などから移転は困難であり、**現在の位置にケア24浜田山を存置する**ことが、利便性を保つ上で最も適当であると考えました。

○浜田山会館について、ワークショップでは、現行のホールを維持しつつ、「地域の人や様々な世代の人にとって必要とされ、使い勝手の良い施設にする必要がある」等の声もあるなど、コミュニティふらっとの整備を期待する意見が出されていました。

プランを決定する際の考え方

■浜田山会館及びケア24浜田山について②

○一方で、ケア24浜田山を存置した上で浜田山会館をコミュニティふらっとに転用しても、現行の浜田山会館以上の面積を確保することはできないことから、新たにラウンジを設置する等、他のコミュニティふらっとと同様の設えとすることは困難です。また、コミュニティふらっとには、一部の集会室に高齢者団体優先枠を設定することとなりますが、この場合、浜田山会館の既存利用者への影響も懸念されます。

○こうしたことから、現時点においてコミュニティふらっとへの転用によるメリットは見出せないことから、**現行のホールを維持したまま浜田山会館として存置します。**

○ただし、誰もが使いやすい施設づくりの観点から、**長期の休館を伴わない範囲で、誰もが自由に利用できるスペース等の整備や、ホールを生かした施設運営、利用周知等により多世代の利用を促進していくこととします。**また、今後、長期の休館を要する長寿命化改修や中規模修繕等を実施する場合には、その機会を捉え、より充実した施設への改修工事を行うことを検討します。

プランを決定する際の考え方

■高井戸東保育園改築中の対応について

○高井戸東保育園の改築中は、旧保育室浜田山東の跡地に仮設園舎を整備し、仮移転する予定です。改築時期(解体含む)については、最短で、現在在園中の0歳児、1歳児が、それぞれ4歳児、5歳児となる令和10年度(2028年度)を予定しています。

○なお、ワークショップでは、旧保育室浜田山東の既存建物を活用して仮設園舎を整備するというアイデアも出されましたが、既存建物の築年数や仮設園舎として必要な延床面積等を踏まえると、実施することは困難です。

○また、仮設園舎として活用後、その敷地に集会施設を整備するというプランも検討しましたが、浜田山会館が現在の規模で存置されることや、ゆうゆう高井戸東館が高井戸東保育園との併設施設として存置されることから、この地域における更なる集会施設の整備は必要ないものと考えます。

○したがって、仮設園舎の活用後については、将来的に幅広い活用方法の検討ができるよう、現時点では用途を定めず、その時点での区民ニーズ等に応じた活用方法を別途検討することとしますが、ワークショップの中でいただいた跡地活用に関する意見・アイデア等につきましては、その際の参考にさせていただきます。

意見交換

(テーマ)

○プランの内容やプランを決定する際の考え方に
対する意見、疑問点等

(40分)

区からのあいさつ